

瀬戸市空家等対策計画～せとで住もまいプロジェクト～（案）に対する意見募集
（パブリックコメント）の実施結果

- 1 意見募集期間 平成28年2月15日（月）～3月10日（木）
- 2 意見提出人数 2人（窓口提出1件、郵送1件）
- 3 合計意見件数 2件
- 4 意見への対応
- | | |
|----------------------------------|----|
| (1) 意見を踏まえて、案の修正を検討するもの | 0件 |
| (2) 今後の事業実施の参考とするもの | 2件 |
| (3) 意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済みであるもの | 0件 |
| (4) その他（本計画案に対する意見でないもの等） | 0件 |

5 意見の概要及び市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方
1	空き家をリフォームし、一人で暮らす者が集まって管理し、食事や会話を楽しんだり、自分が得意とする分野で活躍できるような居場所づくりをしてほしい。元気な高齢者が活躍できる場づくりを老人ホームという形ではなく、空き家を活用してつくってほしい。	空家等対策計画の「基本目標3人と人がつなぐまち」において、「所有者も地域も新たな地域づくりの担い手となる住民を受け入れ、日々の生活の中で世代を超えた絆を深めることで人と人がつながり、地域コミュニティが維持されるとともに、地域の伝統や文化がつながれていくまちづくりを進めます。」としています。
2	地域のふれあいサロンとして空き家を活用してほしい。特に男性は定年退職後、新たに地域に踏み出しにくい人が多いと思われるが、そういった方々の得意分野を活かして孤立を解消し、地域住民のたまり場となるような空き家の利活用を考えてほしい。	いただいたご意見は、空き家等の利活用の一例として今後の事業実施の参考とします。